

## 施工業者様用

### 〈施工説明書〉

# 無垢フローリング ピノアース 6mm

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



### 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

#### ・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

#### ・ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。

床材が破壊するおそれがありますので必ず補強対策をし、インシュレーター等を使用してください。

#### ・根太上の直接施工の禁止。

直接根太上に施工すると強度不足のため床材が破損することがありますので、必ず根太上に厚さ12mm以上の合板を捨て張りしてください。

#### ・自然塗装製品は水分厳禁。

自然塗装製品をお手入れする際などに、水は絶対に使用しないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。

#### ・長辺接続部分への接着剤の使用禁止。

長辺接続部分には接着剤の塗布は絶対に行わないでください。

#### ・油性・水性ワックスの使用禁止。

油性・水性ワックスはすべりやすくなる為、当社推奨の樹脂ワックスを使用してください。



必ずおこなう

#### ・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

#### ・床下換気口の設置。

湿気がこもると床材が腐朽する原因となります。

#### ・床下収納庫への使用時の補強。

床下収納庫の天板に直接フローアを使用することはできません。必ず補強を行ってください。

### 注意!

#### ・フロアコーティングは推奨していません。

推奨ワックスをご使用ください。  
(フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。)

### お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

# 1 施工の前に確認してください。

## ① 開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。

当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

また開梱後は速やかに施工してください。

## ② フロアーの仮並べ

色や木目・溝部分に多少の違いが出る場合があります。施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。

極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。

施工後のお申し出には応じかねます。

## ③ 工具の準備

### ■釘仕様

接着剤付きフロアー用ステーブル(肩幅4mm、足長25mm)をご使用ください。

※フロアーネイル・フィニッシュネイル・ブラッドネイル(針釘)や通常の釘類は使用しないでください。



接着剤付きフロアー用  
ステーブル  
(肩幅4mm、足長25mm)



× フロアーネイル38mm



× フィニッシュネイル(針釘)  
ブラッドネイル(針釘)

### ■指定接着剤

ウッドワン専用接着剤(品番:ZX0311)～ウレタン系ウレタン系樹脂一液類をご使用ください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

# 2 施工手順

## ① 下地の確認(施工)

### (1)十分な乾燥の後、施工する

捨て張り施工の場合や、RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・根太・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。

### (2)防湿のために風通しをよくする

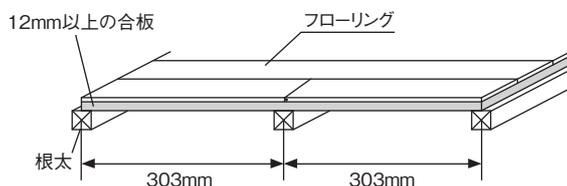
床下換気口の位置と数は建築基準法に従ってください。

(外壁の床下部に壁長さ5m以下毎に、300cm<sup>2</sup>以上の換気孔設置)  
床下の湿度が特に高い場合は、地盤全面に厚さ60mm以上のコンクリートの打設、または厚さ0.1mm以上の防湿フィルムを全面に敷きつめる等の防湿処理をおこなってください。

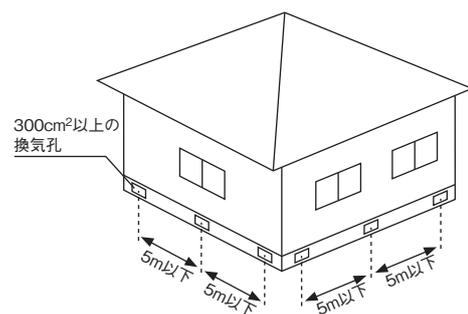
### (3)根太施工

根太には反り、ねじれの無いプレーナーがけした45mm角以上の乾燥材(含水率14%程度)を使用してください。

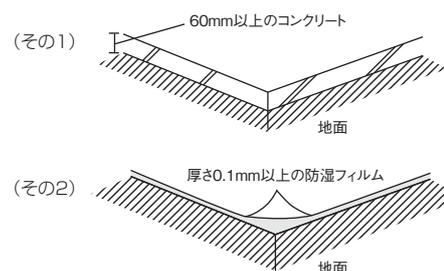
根太間隔は303mmピッチとしてください。



一般住宅 換気孔の適正配置(参考)



床下の湿度が高い場合の防湿方法



#### (4) 捨て張り合板

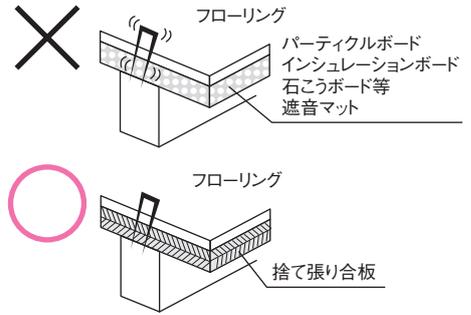
捨て張り工法専用の床材ですので、直接根太上に施工すると強度不足のため破損することがあります。根太の上には下地合板として**厚さ12mm以上、含水率14%以下**のものを使用してください。

※下地にはパーティクルボードや石膏ボードは使用しないでください。

床下(コンクリート)等はコンクリート含水計で含水率10%以下であることを確認し、施工をおこなってください。含水率が高いと接着不良やフローアの反り、突き上げ、変色、カビなどが発生するおそれがあります。また**根太と合板は接着剤・釘併用施工**としてください。捨て張り合板は突きつけて施工せず、2mm程度継ぎ目をあけてください。その際、捨て張り合板の接合部の段差ができないように注意してください。

既存のフローアの上に追い張りする場合は、表面を十分に清掃してください。

またワックス等もワックス剥離剤等で取り除いてください。

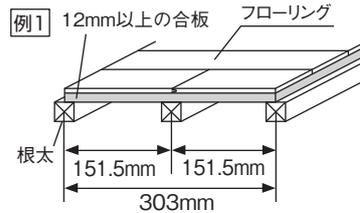


#### (5) 重量物設置の場合の補強処理

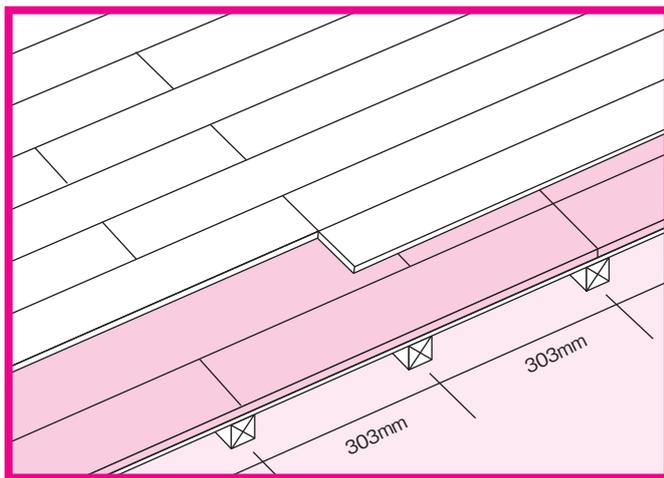
重量物を設置する場合には根太間隔を151.5mmにする(例1)か、12mm以上の下地合板を2重に捨て張りして(例2)補強してください。

※発熱パネルの耐荷重についてはパネルメーカーにお問い合わせください。

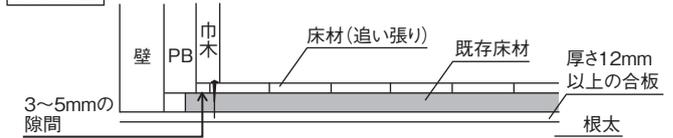
重量物の補強方法



## ② フローアの割り付け



張り施工



図のように端部の床材は、釘を脳天打ちで完全に固定してから行ってください。

無垢フローリングは吸放湿により、隙間や突き上げが出ることがあります。施工時には、かるく突く程度に施工してください。又、木口のジョイント部もきつく締めつけないで緩めに施工してください。

- **フローリングの継ぎ目と捨て張り合板・既存フローアの継ぎ目が重ならないように施工してください。段差になる恐れがあります。**

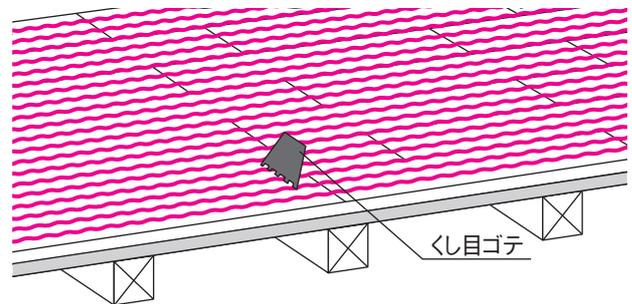
## ③ 接着剤の塗布

- 接着剤の塗布には同梱のくし目ゴテを使用して全面に塗布してください。
- ウレタン樹脂接着剤は、よくかきまぜた後そのまま使用し、塗布後30分以内に施工してください。

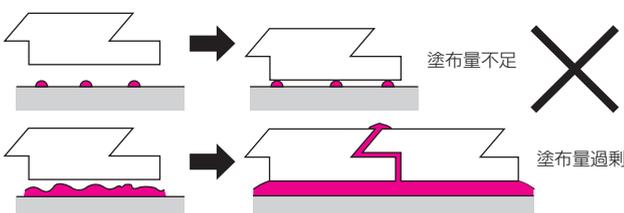
### ⚠ 注意

接着剤の塗布量が不足または過剰では接着不良、踏み鳴り、接着剤の表面へのはみ出し等のトラブルのおそれがあります。

万一、塗装面に付着した場合は、直ちに濡れ雑巾又は溶剤等で軽く拭き取ってください。硬化後は絶対に取れませんので注意してください。



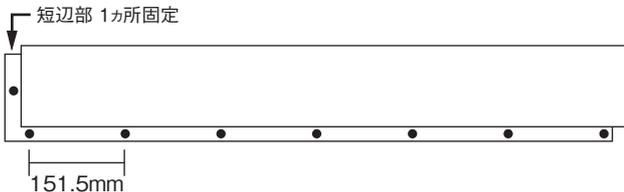
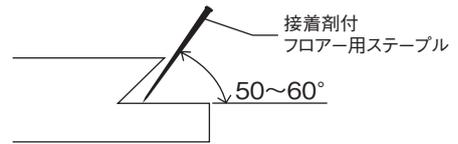
接着剤の適正塗布量 350~400<sup>g</sup>/m<sup>2</sup>



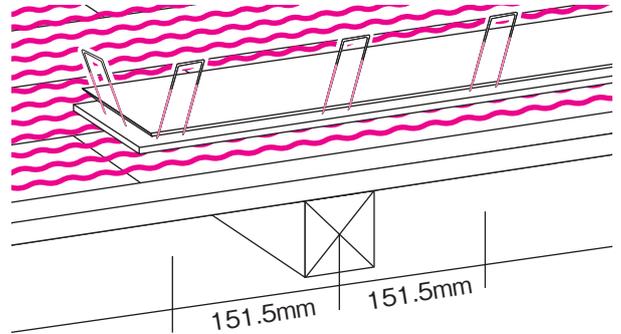
## ④ 釘打ち

- 釘は接着剤付フローア-用ステーブル(肩幅4mm、足長25mm)とし、直貼り用接着剤を必ず併用施工してください。(肩幅4mmを超えるステーブルを使用するとフローア-が割れてしまうおそれがあります。)
- 角度は50°~60°としてください。これ以外では釘頭が基材を持ち上げフクレが発生しますので特に注意して施工してください。
- 接着剤付フローア-用ステーブルの、釘打ち込みピッチは151.5mmとしてください。
- ステーブルをご使用になる場合は、釘頭が残らないように、また、過度に深くならないように打ち込み圧力を6.0~8.0<sup>kgf</sup>/cm<sup>2</sup>にし、調整してください。

打ち込み角度は50°~60°を厳守してください。



フローア-の長辺方向151.5mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部)1ヶ所、弊社指定の接着剤付きフローア-用ステーブルを打ち込んでください。

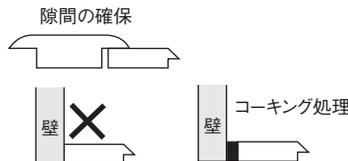


### ⚠ 注意

下地材への固定はしっかりとおこなってください。無垢フローア-は合板突板フローア-より、乾燥変化による寸法変化が大きく生じます。下地材に対して弊社推奨の釘と接着剤でしっかりと固定してください。しっかりと固定により、寸法変化を小さく抑えることができます。

フローア-周辺の壁際およびサッシ下などには必ず3~5mm程度の間隙をあけてください。また端部のフローア-は脳天から釘打ちし、完全に固定させてください。

※周辺部の納めは必ず隙間を設けるか、コーキング処理してください。又は、専用の薄床見切り材(別売)をご使用ください。吸湿時にフローリングが膨張して不具合が生じることがありますので厳守願います。



### 施工例

巾木下隙間 3~5mm

サッシ下隙間 3~5mm

上り框

玄関

壁

巾木

3~5mmの隙間

壁

巾木

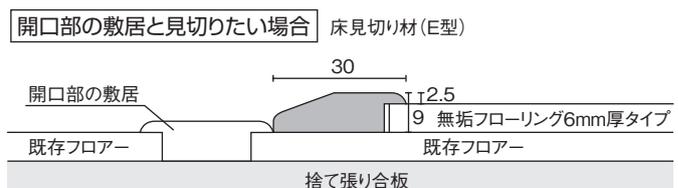
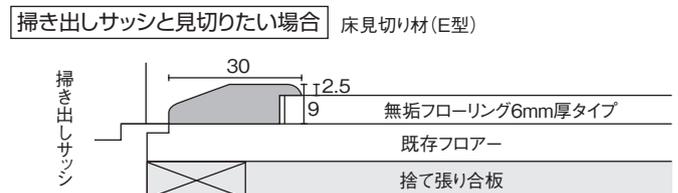
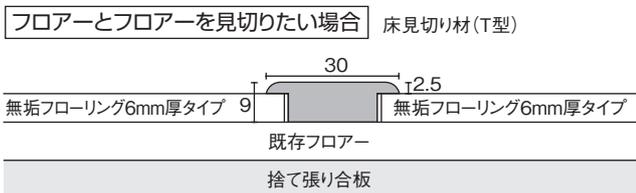
3~5mmの隙間

## ⑤ 既存フローア-※の上に追い張りする場合

※遮音/防音フローア-を除く

既存フローア-の上に本製品を追い張りする場合は、リフォーム用の薄床見切り材(別売)をご使用いただけます。

- リフォーム用の床見切り材・サッシ見切り材をご使用になる場合は、フローア-の見切りを入れる側の実を切り落とし、見切り材に差し込んで、ご使用ください。見切り材は接着剤を使用し固定させてください。



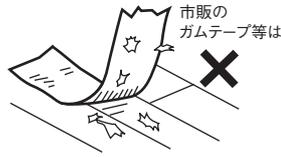
## ⑥ 梅雨時期の湿度対策

- 施工現場にて開梱後は養生期間をおかずに速やかに、施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

## ⑦ 養生

●フロー施工後、接着剤が硬化するまではフローが動かないよう適正に養生してください。(養生期間:1週間程度)

●施工後は、木屑や砂、ごみをきれいに取り除いてダンボール、ベニヤまたは養生カバー等で隙間なくカバーしてください。市販のガムテープや粘着力の強い養生テープをご使用になりますと、塗膜の剥がれの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れていないことを確認するとともに、濡れないような配慮をお願いします。



●養生テープを取り除く際は、テープを床面と垂直にしながら剥がすと、製品表面の塗膜剥離をおこすおそれがありますので、テープを床面と平行にしながら、ゆっくりと剥がしてください。

